

未来・キャリア創造プロジェクト2023に参加して

今回の東京研究を一言でまとめると、まさに「本物との出会い」でした。この研修で出会った人たちは、皆私にとってとても刺激的で自分の見える世界が広がりました。2日間という短い間でしたが、学校では学べない事を多く学んだ、内容の濃い時間だったと思います。改めてそれぞれのイベントについて振り返りたいと思います。

まず、ディレクトフォースとのセッションについてです。DFの方々はどうなとも凄い経歴の持ち主で、会うまではとても緊張していました。しかし実際会ってみると、どなたも想像と違いフレンドリーで、人見知りな私でさえ楽しくセッションに参加することができました。特に印象に残っているのは、三宅さんとのセッションです。三宅さんは、キックマン「うちのごはん」の企画者で、会社から賞をいただいた事もある方ですが、最初は失敗だらけだったそうです。しかし、大学時代の恩師の、「決して人材になるな。かけがえのない人物になれ」という教えのもと、自分が作りたいものを買き、成功を掴んだそうです。こんなに成功している人も最初は失敗ばかりだったと聴いて、親近感が湧いたし自分も不可能じゃないんだと、勇気を持つ事ができました。私は、そんな三宅さんに、「高校時代から、自分の夢を目指し学部選択をしていたのですか」と尋ねました。すると三宅さんは意外にも「高校時代はあまり将来の事は考えていなかった。時間に追われて選択するよりも、自分の好きな事が見つかった時点で夢へ向かって挑戦すれば良い。人生いつからだって挑戦できる」とおっしゃっていました。今も色々な事に挑戦し続ける三宅さんならではの答えでした。この言葉は、改めて自分の将来について考えさせられるような言葉でした。このセッションは自分の可能性に気づく事ができ、さらにスポーツ産業や銀行、マーケティングなど様々な業種のリアルな姿を知る事ができ、とても新鮮で貴重な経験だったと思います。

次に、OB OG座談会についてです。この会では三人の二高卒東大生のお話を聴きました。それぞれ特徴のある貴重なお話でしたが、共通している部分も幾つかありました。それは、皆東大を絶賛しているところです。有名な企業とのコラボ講義だったり、クラスメイトとの質の高い交流など、大学生活を楽しんでいる事が伝わってきました。今まで机に向かって勉強ばかりしている東大生のイメージと全く異なる学校生活にとっても驚くとともに、自分も入ってみたいという思いが生まれました。また、東大に入ることの難しさについても、皆さん話されていました。東大はほとんどの人が関東や関西出身で、東北の人は、5%にも満たないそうです。私も含め、地方は東大についての情報が少なく、東大を神格化している事がその理由かも知れません。しかし、目指してしまえば案外入ることができる大学だと言います。もちろん、高い情報処理能力だったり、物事の本質を問われる東大受験は簡単ではありませんが、今の時期から良い環境に身を置き、基礎を徹底的にやれば受かると本気で思えるほど、東大がリアルになりました。こんな経験をした私は本当にラッキーだと思います。この経験を無駄にしないため、日頃の学習に東大生から教わった勉強法を取り入れて自分の可能性を広げていきたいと思っています。

次に、企業訪問についてです。私たちのグループは、日本を代表する五大商社の一つ、三菱商事を訪問しました。三菱商事の本社ビルは丸の内のだ真ん中という東京の顔ともいえる場所に聳え立っていました。周りには、三菱商事の社員でしか入れないエリアがいくつかあり、改めて会社の規模の大きさを痛感しました。恐る恐る足を踏み入ると、早速警備員に止められ、事情を説明しなければならなくなるなど、ハプニングの連続で内心穏やかではありませんでした。そんな中、招待された会議室のドアをノックすると、予想とは裏腹に優しくそうな人が出迎えてくれました。その方が、今回お話ししていただく湯澤さんでした。湯澤さんが笑顔で挨拶して下さったので、私たちの緊張はいつの間にかなくなっていました。湯澤さんは、お話のはじめに私たちに向けて「働くとはどういうことか」という問いを投げかけました。私

たちはお金を稼ぐ方法だとか社会に貢献することなどの意見を出しました。なぜこの問いを投げかけたのか、最初は分かりませんでした。話を聞いた後、その答えが明かされます。問いかけた後、湯澤さんは三菱商事の事業や自分の経歴について説明してくださいました。全産業ビジネスを展開している三菱商事の事業は、本来なら高校生には難しい内容なのですが、私たちの事を考慮して、分かりやすくかつ具体的に説明して下さいました。改めて湯澤さんの優しさや、能力の高さを実感しました。やはり、こんな一大企業に勤める人は、レベルが違います。そうやって話を聴いていると、働くことの意味について考えさせられました。三菱商事の社員の方々は単にお金稼ぎの為だけに働いているのではなく世界中の人々と連携しながら、あらゆる地域の人々を幸せにするために働いているという事が強く伝わってきました。そして、最後にもう一度「働くとはどういうことか」と問いかけました。その時の私たちの答えは最初とは全く異なるものでした。湯澤さんは、この会を通して働くことの意味を伝えたくてこの問いを投げかけたのだと分かりました。まさに私たちの仕事に対する考え方は一新しました。会が終わり、また入口のゲートを通ったとき、来た時とは違い、達成感と自信に満ち溢れていました。ここに来て本当に良かったです。

最後に、東大訪問についてです。今までテレビでしか見る事のなかった建物が目の前に現れ、興奮を隠せませんでした。イメージとは違い西洋風の建物が多く、別世界に来たような感じでした。ですが、東大生とのセッションも経験したので、どこか親近感も感じました。そして、私たちは山上会館に移動し、TedxUTokyoの活動に参加しました。そこでは、有名な方のスピーチを聞いたあと、それについて意見を交換し合いました。あまり、人前で話すのは得意ではないのですが、今回勇気を出して自分の意見を発表してみると、意外とできることが分かり、苦手を克服すると共に自分の意見を多くの人に伝える楽しさのようなものを知る事が出来たと思います。TedxUTokyoは、このように日本中世界中の人々の前に立ってスピーチをしているそうです。そんな人たちと話し合えた事は間違いなくいい経験だったと思います。

この研修では、多くの「本物」と出会いました。出会えたことで、今まで夢だったものが現実になると同時にそのレベルの高さに圧倒されました。有名企業の人、三菱商事の人、東大生の方々も、最初は失敗だらけだったけれど自分の好きな事、自分の夢を追いつづけたから多くのことを成し遂げられたのだと思います。私も今、勉強や部活で伸び悩んでいる事が多く、諦めてしまいそうになることがあります。しかし、今回の経験から諦めなければ自分の可能性は無限大であることを知りました。これから辛い事もあるかもしれないけれど、少しずつでもいいから、自分の夢に向かってスモールステップを積み重ねていきたいと思っています。本当にこの研修に行って良かったと思います。